釧路	工業高等	専門学校	開講年度	令和06年度 (2	 2024年度)	授	 業科目	英会話		
科目基礎								,		
科目番号		0071			科目区分		一般/選	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
授業形態		講義		単位の種別と単位						
開設学科		機械工学	機械工学分野				4			
開設期		通年			週時間数		2			
教科書/教	材	Usage N	k: Just talk Kurt lichael Swan (Oxf onversation Rob N	ord Univ. Press)Ei	nglish Vocabulary	in Us		References: Practical English ny+O'Dell(Cambridge Univ. Press)		
担当教員		_	エリック ローズ		•					
到達目標	<u> </u>									
By helpin able to ha	g students ave good o	gain confi communica	dence in their Eng tion.	lish ability and in	troduce them to	English	as it is u	sed in the real world, they are		
ルーブリ	ノック		理想的な到達レ	<u> </u>		~ II ΦE	9空			
							3女	Not to be able to continue		
評価項目1			To be able to conversation in	enjoy natural n English.	To be able to e conversation in some hints or s	í Énglis	h if given tion.			
学科の至	引達目標項	目との関	係							
JABEE f	育到達度目標 	票 F 								
教育方法	5寺	1,44		1	1	.,	-11.1			
概要		English	as it is used in the	real world.	·			new words and be introduced to		
		of other	people. Being over	erly shy will not h	elp you in this cla	ass. Mo	st studer	mes you will have to speak in front hts find this class very fun.		
授業の進め	か方・方法	70% an	 Passing criteria is 60% of the oral and paper test. And final grade is the total of the oral and paper test 70% and in-class attitude and participation 30%. When the retest, passing criteria is 60%. 					total of the oral and paper test g criteria is 60%.		
		• This is	s a long class, but ear English is relev	I will try to make ant to this class.	e it fun for you. I	want y	ou to hel	p me make it enjoyable.		
注意点		· Yes yo	ou can! If you b	elieve you can the	en you can! Just	relax a	nd do yoı	ur best.		
授業の属	属性・履修	多上の区分	•							
	・イブラーニ		☑ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応	<u> </u>		□ 実務経験のある教員による授業		
			1 2 2 2 1 37 13		1 10 11 11 11 11 11					
授業計画	<u> </u>									
JXXIIIE	1	週	授業内容			調ごと	の到達目標	<u></u>		
		1週		Voc/No questions		-		ersonal preferences and family		
							•	•		
		2週	subject-verb agre	t 2:simple present; adverbs of frequen jject-verb agreement: pronous (1)			To talk about habits			
	1stQ	3週	Unit 2:simple pr	nit 2:simple present; adverbs of freque bject-verb agreement; pronous (2)			To talk about habits			
		4週		nit 3: simple present (1)			k about jo	obs		
		5週	Init 3: simple present (2)				k about jo			
		6週	Jnit 4: present perfect; simple past vs present perfect; adverbs of frequency (1)			To talk and ask about experiences				
								·		
		7週	perfect; adverbs	Unit 4: present perfect; simple past vs perfect; adverbs of frequency (2)			To talk and ask about experiences			
		8週	前期中間試験を実施している。							
前期	2ndQ	9週	Unit 5: can & car perfect	.et's ···; present	To tall	ports and abilities				
		10週	Unit 6: simple pa short responses;	st; Wh-and Yes/N time expressions	No qestions; (1)	To giv	e reasons	3		
		11週	Unit 6: simple pa short responses;	st; Wh-and Yes/N time expressions	No qestions; (2)	To giv	To give reasons			
		12週	Unit 7: simple pa not enough (1)		To tall	ckness				
		13週	Unit 7: simple pa not enough (2)	:: too much &	To talk about sickness					
		14週	Unit 8: future; be expressions (1)		To talk about future events and to make invitations and appointments					
		15週	Unit 8: future; be expressions (2)	to; time	To talk about future events and to make invitations and appointments					
		16週		前期末試験を実施する						
		1週	(1)	ast; reported spec		To tall	To talk about experiences and to tell a stor			
後期 3	3rdQ	2週	(2)	ast; reported spec		To tall	To talk about experiences and to tell a stor			
		3週	Unit 10 : future: (1)	will; Wh- and Yes	s/ivo questions	To tall	k about w	reather and travel		

		4週	Unit 10 : future: will; Wh- and Yes/No questions (2)	To talk about weather and travel		
		5週	Unit 11: polite modals; requests; offers; adjectives (1)	To make requests, make offers, give reasons and order at a restaurant		
		6週	Unit 11: polite modals; requests; offers; adjectives (2)	To make requests, make offers, give reasons and order at a restaurant		
		7週	Unit 12 : second conditionals; I'd rather \cdots ; I'd prefer \cdots	To talk about love & romance		
		8週	後期中間試験を実施しない			
	4thQ	9週	Unit 13: short responces with either, neither, so, too; verb agreement (1)	To talk about likes / dislides and to react and respond to someone		
		10週	Unit 13: short responces with either, neither, so, too; verb agreement (2)	To talk about likes / dislides and to react and respond to someone		
		11週	Unit 14: adjectives to describe feelings and emotions; You look…; syllable stress word stress (1)	To express and describe feelings and emotions, and talking about experiences		
		12週	Unit 14: adjectives to describe feelings and emotions; You look…; syllable stress word stress (2)	To express and describe feelings and emotions, and talking about experiences		
		13週	Unit 15: past progressive; time expressions (1)	To talk about past events and give excuses		
		14週	Unit 15 : past progressive ; time expressions (2)	To talk about past events and give excuses		
		15週	Unit 16 : simple past; present perfect; cause & effect	To talk about accidents & injuries and parts of the body		
		16週	後期期末試験を実施する			
モデルコ	アカリキ	コラムの)学習内窓と到達日標			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	*カワキユ.	<u> </u>	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力				聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前3,前3,前4,前5,前6,前前1,前前14,前前前14,前前前前114,前前15,前16,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後11,後後14,後15,後16,
	人文・社会 科学	英語	クセントの規則を習得して適切に運用できる。 京語 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じ 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して 切な運用ができる。	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・ア クセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前46高,前5,前66高,前1012,前前前前前1012,13,前前前114,62,後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適 切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じ た文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
				3	前1,前4,前 5,前 5,前前前前 5,前前前前 7,前前10,2 9,前前10,前 11,前前14, 6,2 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 8,4 11,後 8,4 11,後 8,4 11, 15,後 13,後 15,後 13,後 16, 13,後 13,後 14, 13, 14, 14, 14, 14, 14, 14, 14, 14, 14, 14	

日常生活や母頭が経面に関して、自分の異異や極端を基本的な志 3 14年13月 15月 16月 17月 17月 17月 17月 17月 17月 17月 17月 17月 17				
2.3 前4 億分		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて英語で話すことができる。	3	3前4,6前前前前11,2 7,前前前12,1 11,前前14,6 (後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後
を読み取ることができる。 日常生活や身がは話話に関して、自分の意見や感想を撃埋し、100話程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。			3	3前4,6 5,前前10,2 7,前前11,3 11,前14,6 13,前16,後 4後後後 4後後後後 7,後 9,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11,後 11,
100語程度のまとまりのある文華を英語で書くことができる。 3 3 3 3 3 3 4 3 3 3		平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。	3	
明国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 3 3 4 3 4 4 3 1 5 6 1 5 8 1 5 8 1 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、	3	
3,前4,前 5,前6前 7,前8前 9,前10,前 11,前12,前 11,前12,前 11,前12,前 11,前 11,前		母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	3.5,7,911.3.5,7,9,11.3.5,8後後後8.10,2,4,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6,6
自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 「国国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル 2		実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	3.5.前4,6.前前前前12,4.6. 7.前前前14,1.5. 11,3.前前14,6. 13,6.1. 15,後後後後,後後後,後,後後,後,後,後,後,後,後,10,2. 13,後13,後14,13,6. 13,後14,13,6. 14,6. 14,6.
英語運用能力向上のための学習 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 田国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 羽切が英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル のやりとりができる。		する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。		,
学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる 3		_ಕಿವ್ಯ	3	
めの学習 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル っ		学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる 	3	
イティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。			3	
平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など 3 のやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル っ		イティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。		平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。	3	
		関心のあるトビックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	

				英文資料を、自分の や口頭発表用の資料 ライティングにおい きる。	3				
				実際の場面や目的((ジェスチャー、ア 切に用いることが	'イコンタクト、代	3コミュニケーショ 用表現、聞き返し <i>1</i>	ン方略 など)を適	3	
				それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。				3	
	工学基礎	グローバリ :基礎 ゼニション	J グローバリングローバリング ゼーション ・異文化多	様々な国の生活習慣ついて説明できる。	3				
	_ •	・乗又化。	ター・乗又化ター 文化理解	異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。				3	
				それぞれの国や地域果たすべき役割や	3				
評価割合									
	試験		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	計
総合評価割合	ì 70		0	0	30	0	0		0
基礎的能力	70		0	0	30	0	0	10	0
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0	
分野横断的能	力 0		0	0	0	0	0	0	